

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部
公告の方法	日本経済新聞の掲載
証券コード	7214

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930
<http://www.gmb.jp>



GMB REPORT

第47期 年次報告書 平成20年4月1日～平成21年3月31日

技術革新と新製品開発を通じ、
自動車部品産業のオンリーワン企業として
国際社会に貢献します。

社訓



グローバルに進展する モータリゼーションとともに

エンジンの円滑な回転を支えるウォーターポンプやファンクラッチ、
テンショナー&アイドラーベアリング。
ハンドル操作、エンジン駆動力を車輪に確実に伝えるユニバーサルジョイント。
快適な乗り心地を支えるサスペンション……
GMBは、日本をはじめ韓国、中国、タイを拠点に、
ドライバーの信頼に応える高品質な自動車部品を生産しています。
そして、それらは世界中の自動車メーカーを通じて、
世界中のドライバーに提供されています。
生産も販売もグローバルに——それがGMBです。



TO SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



代表取締役会長
松岡 信夫



代表取締役社長
南北 一雄

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、第47期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の年次報告書をお届けいたします。

当期の業績について

当期の激変する厳しい事業環境の中、GMBグループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において販売強化に努め、欧州市場における新車用部品の販売が順調に拡大するなど一定の効果をあげたものの、夏場の韓国完成車メーカーのストライキやその後の自動車業界の急激な生産調整の影響とともに、補修用部品市場においても悪化する景況感と円高に進んだ為替相場の影響で買い控えが広がり、販売は急速に悪化いたしました。また、海外生産移管の加速や固定費の削減などグループを挙げてコスト削減に取り組み、原材料価格の上昇を製品価格へ転嫁することで吸収すべく尽力いたしました。が、販売面の急速な減少の影響を十分に吸収することはできませんでした。さらに、韓国ウォンの下落など在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も大きかった

ため、連結売上高は356億円（前期比19.3%減）、連結営業利益は5億円（同81.0%減）、連結経常利益は6億円（同78.0%減）となり、連結当期純利益につきましては、税制改正の影響などもあり5億円（同50.6%減）と、大幅な減収減益の決算となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、世界的な景気悪化に伴う自動車需要の低迷や急激な為替変動など、GMBをとりまく経営環境は、引き続き厳しい状況を予想しております。このような環境の中、設備投資の縮小や固定費削減をすめながら、縮小する需要規模に見合った体制への引き締めと、従来から進める「最適生産・最適購買」を目指したグループ拠点展開を推し進め、引き続き新車用と補修用部品の両市場における販売強化に取り組み、グループ一丸となってこの厳しい環境を乗り切る所存であります。

以上により、平成22年3月期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高252億円（前期比29.4%減）、連結営業利益5億円（同3.2%減）、連結経常利益3億円（同50.9%減）、連結当期純利益1億円（同83.3%減）を計画しております。

株主還元に対する方針について

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。当期の配当金につきましては、従来の配当水準を引き下げ前期比5円減配の年間30円とさせていただきます。次期の配当金についても、年間30円とさせていただきます予定であります。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

クオリティこそGMBブランドの証です

基本理念

HIGH
QUALITY
PRODUCTS

QUICK
DELIVERY

COMPETITIVE
PRICE

BEST
SERVICE

GMBは、4つの基本理念に基づき、製品設計・製造を行っております。

機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保证するため、多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。

主な製造部品

■ ユニバーサルジョイント

GMBのユニバーサルジョイントは、軽量・小型化を実現するとともに、高い強度や優れた耐久性によって、安全、確実な動力伝達を可能としています。

■ ステアリングジョイント

ハンドルの操作性を向上させるために、小型・軽量化が図られています。近年、電動パワーステアリングの普及に伴い、剛性の高い製品が要求されています。

■ ウォーターポンプ

アルミダイカストやプレスインペラーの採用により、究極の軽量化を達成。さらにベアリング・一体化メカニカルシールを社内生産して低トルク構造と、動力損失の少ない高寿命なウォーターポンプを生産しています。

■ サスペンションパーツ

GMBはタイヤにおいてサスペンションパーツの素材成形から一貫生産しています。



エンジン部品

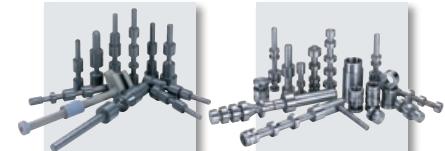
サスペンション

シャーシ部品



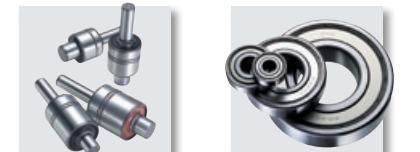
ユニバーサルジョイント ステアリングジョイント

ミッション部品



バルブスプール バルブスプール

ベアリング



ウォーターポンプベアリング ボールベアリング



テンショナーベアリング アイドラーベアリング



ウォーターポンプ



ファンクラッチ



生産工程

GMBは、素材をダイカスト、プレス、切削、研磨などの工程で成形し、その部材を自社で組み立てて製品としています。各工程が、不良品を出さないように厳しく品質管理を続けることで、低コストで、信頼性の高い自動車部品の生産が可能になるのです。

ダイカスト



ウォーターポンプのボディ&ハウジングを成形します。

プレス



複雑形状を後加工なしに鍛造成形のみで仕上げるネットシェイプを追求します。

切削/研磨



NC加工機群によって鋼材を切削、研磨します。

熱処理



加工後の金属組成を調整します。

組み立て



社内で生産した信頼の部材を組み立てます。

検査



徹底した品質管理で、クレーム・ゼロを目指します。

TOPICS

ISO/TS16949認証取得

当社は2008年7月、自動車業界特有の世界標準の品質マネジメントシステム規格である、ISO/TS16949の認証を取得しました。この厳しい規格の運用を通じて、製品の品質をより向上させるだけでなく企業体質を強化し、世界の新車用部品市場へ積極的にアピールしていきます。



韓国子会社が設立30年目に新工場建設

設立から30周年を向かえたGMB KOREA CORP.は、主要取引先とのパイプを強化するため、北部の忠清南道瑞山市に国内3番目となる工場を建設しました。ここではリテーナーやピニオン・シャフトといった自動車部品の開発と製造に取り組んでいく計画であります。



瑞山工場



韓国子会社に対する出資比率を引上げ

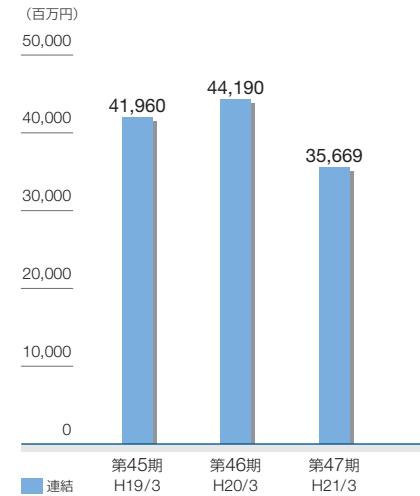
グループの中核企業であるGMB KOREA CORP.(以下韓国GMB)に対する出資比率を7.8%引上げ、61.7%としました。これにより、韓国GMBの連結業績に対する貢献度も高まることとなります。

昨今苦戦する世界の自動車メーカーの中でも比較的健闘中と言われている現代自動車グループを主要顧客にもつ韓国GMBは、ウォン安を追い風に欧州を中心として輸出取引にも力を入れています。

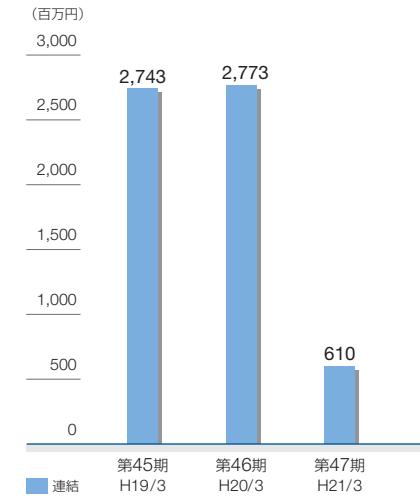


第一工場

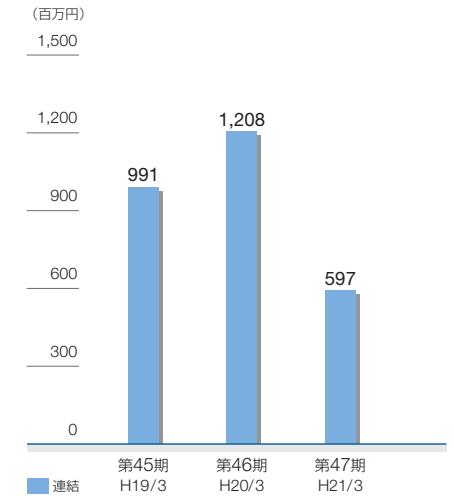
売上高



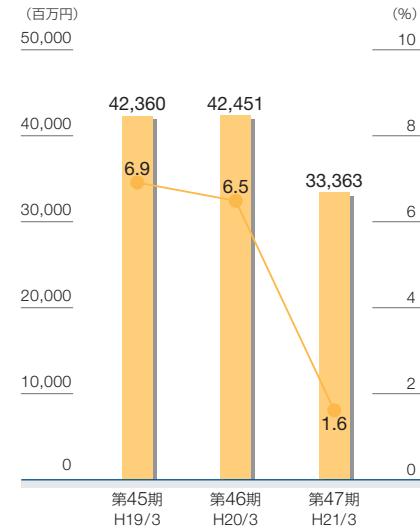
経常利益



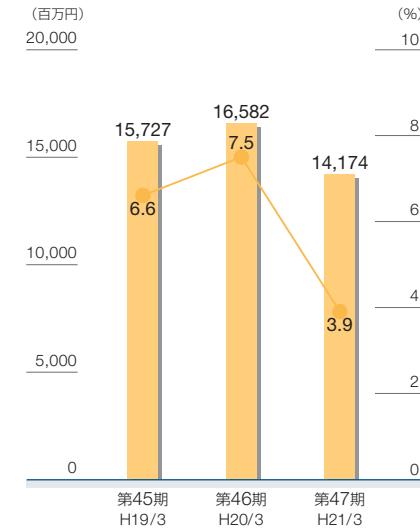
当期純利益



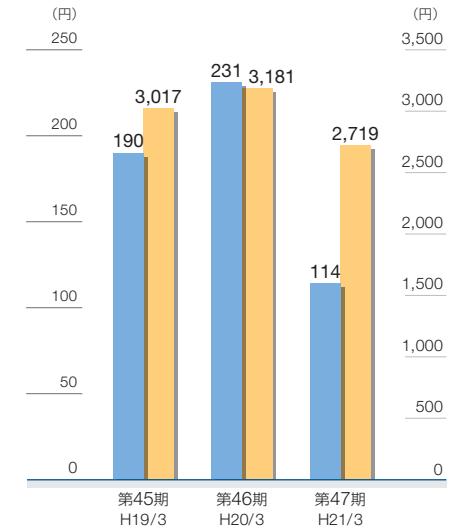
総資産/ROA



自己資本/ROE



EPS/BPS



連結貸借対照表

科目	当期	前期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,966	21,119
現金及び預金	4,602	4,901
受取手形及び売掛金	4,140	7,882
たな卸資産	6,426	7,656
未取還付法人税等	120	—
繰延税金資産	105	204
その他	618	642
貸倒引当金	△ 48	△ 166
1 固定資産	17,397	21,332
有形固定資産	16,346	20,066
建物及び構築物	3,296	4,364
機械装置及び運搬具	6,418	8,154
土地	5,272	6,105
建設仮勘定	975	913
その他	382	528
無形固定資産	252	339
のれん	54	82
その他	197	256
投資その他の資産	799	926
投資有価証券	92	152
繰延税金資産	354	357
その他	373	445
貸倒引当金	△ 21	△ 29
資産合計	33,363	42,451

POINT 1 設備投資

当期は、主に海外拠点の生産能力増強や日本・韓国から中国・タイへの生産移管を目的として、総額33億円の設備投資を実施しました。

POINT 2 売上高の減少

下半期以降の急激な需要の落ち込みは新車用・補修用部品両市場において見られました。また、主要な韓国子会社の売上高を円換算する韓国ウォン為替相場が大幅にウォン安円高となったことも影響しています。

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
負債の部		
流動負債	11,050	15,049
支払手形及び買掛金	2,686	5,508
短期借入金	4,077	2,446
1年以内返済予定の長期借入金	2,309	2,185
1年以内償還予定の社債	—	900
未払法人税等	60	580
繰延税金負債	169	719
賞与引当金	149	213
製品保証引当金	157	284
その他	1,440	2,211
固定負債	5,303	5,840
長期借入金	3,221	3,117
繰延税金負債	42	—
退職給付引当金	1,233	1,846
役員退職慰労引当金	233	312
負ののれん	126	—
その他	445	563
負債合計	16,354	20,889
純資産の部		
株主資本	15,884	15,525
資本金	838	838
資本剰余金	988	988
利益剰余金	14,059	13,700
自己株式	△ 1	△ 1
評価・換算差額等	△ 1,710	1,057
その他有価証券評価差額金	△ 14	25
為替換算調整勘定	△ 1,695	1,031
少数株主持分	2,835	4,978
純資産合計	17,009	21,561
負債・純資産合計	33,363	42,451

POINT 3 法人税等調整額の減少

主に、平成21年度税制改正により外国子会社配当益金不算入制度が導入されたことに伴い、過年度に計上した繰延税金負債の一部を取り崩すこととしたためです。

POINT 4 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債償還による支出が9億円となったことなど支出も増加しましたが、短期・長期借入金による資金調達が増加したことなどによるものです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
2 売上高	35,669	44,190
売上原価	30,144	35,503
売上総利益	5,524	8,686
販売費及び一般管理費	4,956	5,700
営業利益	567	2,986
営業外収益	398	173
営業外費用	355	386
経常利益	610	2,773
特別利益	125	64
特別損失	57	45
税金等調整前当期純利益	679	2,792
法人税、住民税及び事業税	275	852
3 法人税等調整額	△ 453	30
少数株主利益	259	700
当期純利益	597	1,208

連結株主資本等変動計算書 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日 残高	838	988	13,700	△ 1	15,525	25	1,031	1,057	4,978	21,561
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	—	—	△ 55	—	△ 55	—	—	—	—	△ 55
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△ 182	—	△ 182	—	—	—	—	△ 182
当期純利益	—	—	597	—	597	—	—	—	—	597
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 40	△ 2,726	△ 2,767	△ 2,143	△ 4,910
連結会計年度中の変動額合計	—	—	414	△ 0	414	△ 40	△ 2,726	△ 2,767	△ 2,143	△ 4,496
平成21年3月31日 残高	838	988	14,059	△ 1	15,884	△ 14	△ 1,695	△ 1,710	2,835	17,009

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,230	3,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,110	△ 2,739
4 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,574	△ 377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 396	△ 5
現金及び現金同等物の増減額	298	175
現金及び現金同等物の期首残高	3,332	3,156
現金及び現金同等物の期末残高	3,630	3,332

山東吉明美工業有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にウォーターポンプ・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

青島吉明美汽车配件有限公司



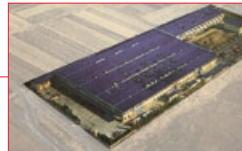
当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にバルブスプー・ユニバーサルジョイントの製造をしております。

青島吉明美機械制造有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

当社(GMB株式会社)



自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売及び各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。

八尾工場



THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.



当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品及び製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

GMB KOREA CORP.

第一工場



第二工場



瑞山工場



自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるバルブスプー・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカー及びその系列会社への販売が中心であります。

GMB NORTH AMERICA INC.

カリフォルニア倉庫



GMB NORTH AMERICA INC.

ニュージャージー本社



当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。

(平成21年3月31日現在)

商号 | GMB株式会社

会社設立 | 昭和37年5月

資本金 | 838,598,000円

代表者 | 代表取締役会長 松岡信夫
代表取締役社長 南北一雄

従業員数 | 連結 2,606名 単体 457名

事業所 | 本社・奈良工場
〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL.(0745)44-1911(代)
FAX.(0745)44-1930
Web Site <http://www.gmb.jp>

八尾工場

〒581-0814 大阪府八尾市楠根町2丁目58番地
TEL.(072)997-1521(代)
FAX.(072)997-2481

グループ会社 | GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)

GMB NORTH AMERICA INC.
(アメリカ ニュージャージー州)

山東吉明美工業有限公司(中国 山東省肥城市)

青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)

THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.
(タイ プラチンプリ県)

青島吉明美汽车配件有限公司(中国 山東省即墨市)

役員 | 代表取締役会長 松岡 信夫

(平成21年6月19日現在)

代表取締役社長 南北 一雄

取締役副社長 水谷 晃

専務取締役 阪口 有一

常務取締役 森 勝

常務取締役 金本 現一

常務取締役 小菅 清

常勤監査役 安藤 政喜

監査役 平野 邦男

監査役 浜本 章

(平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 | 19,000,000株

発行済株式の総数 | 5,212,440株

株主数 | 2,125名

大株主 |

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 登志夫	700,350	13.4
松岡 光子	416,375	8.0
GMB従業員持株会	322,870	6.2
松岡 百合子	320,625	6.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	188,300	3.6
松岡 弘枝	122,500	2.4
飯野 達人	102,500	2.0
金本 順子	98,750	1.9
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505025	87,800	1.7

(注)出資比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況 |

